

議会 だより

平成26年
第4回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

平成26年田原本町議会「第4回定例会」が12月11日から17日まで7日間の日程で開かれました。開会日の12月11日には寺田町長が提出議案について説明。会期中、各議案について慎重に審議が行われ、12月17日に閉会しました。

議案概要

《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

公共下水道事業に係る工事請負契約の変更契約2件の報告

《承認した案件》

○平成26年度田原本町一般会計補正予算(第3号)の専決処分の報告
衆議院議員総選挙に係る経費1495万円を増額補正するもの

○平成26年度田原本町一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告
○平成26年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告

○平成26年度田原本町介護保険特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告

○平成26年度田原本町水道事業会計補正予算(第1号)の専決処分の報告

人事院及び県人事委員会の勧告に準じた給与改定により、一般職員等の勤勉手当や町長・議員等の特別職の期末手当の支給増に伴う総計2177万5千円の増額補正をするもの

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告

人事院及び県人事委員会の勧告に準じ、本年(平成26年)の官民較差等に基づく給与改定を実施するもので、平均0.2%余りの給料月額の上引き上げと、自動車通勤者の通勤手当の見直し、及び一般職員等の勤勉手当や町長・議員等の特別職の期末手当12月支給分に0.15月分の引き上げを実施する改正を行うもの

○田原本町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の専決処分の報告

平成26年12月1日付けで児童扶養手当法の一部を改正する法律の施行により所要の改正をするもの

《可決した案件》

○平成26年度田原本町一般会計補正予算(第5号)

財政調整基金積立金3億円、自立支援介護・訓練等給付費負担金及び障害児通所給付費7100万円、庁舎等建設事業借換債8240万を含む公債費等で、合計4億7443万4千円を増額補正し、また、ふれあいセンター及び学童保育所の指定管理料の債務負担行為の追加などをするもの

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院及び県人事委員会の勧告に準じ、給与制度を総合的に見直し、給料を平均1.4%余り引き下げるが、3年間の現給保障とともに地域手当を5%に改定するもの。また、一般職員等の勤勉手当や町長・議員等の特別職の期末手当6月・12月支給は先の専決処分前の同条例等の支給分に0.15月分を引き上げ配分する等改正するもの

○単純労務職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

単純労務職員についても再任用制度の対象者とするとし、再任用時、扶養手当及び住居手当を支給しない旨を条文に明記するための改正

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例

産科医療補償制度の掛金が1万4千円引き下げられ、併せて、国の出産育児一時金が1万4千円引き上げられたことから、本町の一時金についての額の改正であり、引き続き、総額42万円を支給するもの

○企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

企業職員に係る再任用制度等の適用において、除外項目の地域手当を条文から削除し、整備するもの

○財産の取得について
給食用食器の購入で、契約金額862万1640円で、(備古山厨房から購入するもの)

○指定管理者の指定について
田原本町ふれあいセンターの指定管理者に、社会福祉法人 田原本町社会福祉協議会を指定するもの(期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日)

○指定管理者の指定について
田原本町学童保育所の指定管理者に、特定非営利活動法人 子育てすこやかサークルを指定するもの(期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日)

《適任とした人事案件》

○人権擁護委員候補者推薦につき議会の意見を聞くことについて

氏名 中川和子氏
任期 平成27年7月1日から

平成30年6月30日

《同意した人事案件》

○公平委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 北浦佐多子氏

任期 平成26年12月21日から

平成30年12月20日

○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて

氏名 森岡康憲氏

任期 平成26年12月23日から

平成29年12月22日

《選挙した人事案件》

○選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙について

選挙管理委員会の委員

氏名 小泉和男氏、川嶋均氏、嶋田稔氏、上田利己氏

選挙管理委員会の委員補充員

氏名 多賀義彦氏、松川恵宥氏、勝田博明氏、安田章男氏（補充順位順）

任期 委員・委員補充員ともに平成26年12月25日から平成30年12月24日

各委員会審査の状況

(質疑から抜粋)



《総務文教委員会》

質問 財産の取得（給食用食器の購入）について、新しい食器は児童全員に行き渡すのか。また、古い食器

はどう処理されるのか。

回答 飯碗等の5種類の食器を2300個ずつ購入するので、新しい食器は小学生全員に行き渡る。現在、使用しているものはリサイクルを行う。

経過報告 平成25年12月に採択された「中学校給食の早期実施を求める請願」の処理経過について教育委員会は、9月下旬に平成26年4月から稲美町の給食調理施設等の行政視察を行った。今後、給食の実施については、教育委員会において十分に調査・検討を行い、本町にとって最も適した給食の方向性を示していきたい。

質問 稲美町は給食の実施を決定してから実施に至るまで、何年かかっているのか。また、実施に向けた来年度の予算要求を教育委員会はする予定があるのか。

回答 稲美町では約3年を要しているが、中学校敷地に余裕があるなど、自校方式の調理室を建設するための条件が整っていた。来年度予算では、検討委員会に必要な予算を要求する予定である。

《厚生建設委員会》

質問 平成27年度の学童保育所指定管理料が平成26年度との比較で約2150万円の増額になる要因は。

回答 平成26年度との比較では、対象が6年生までとなったため7教室から9教室に増室、支援員の賃金単価の引き上げ、及び特別に支援が必要な児童のため支援員を増員することによる人件費等がそれぞれ増加したことが主な要因である。

質問 田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、出産育児一時金の請求・受取の方法は、妊婦などに代わって、医療機関等が行う直接支払制度だけなのか。また、産科医療補償制度は掛金額の変更だけで内容は変わらないのか。

回答 直接支払いで、ほぼ100%となっているが、窓口申請も可能である。また、改正内容については掛金額とともに、在胎週数や出生体重などの補償対象となる基準が変更になったもので、補償内容の変更はない。

《唐古鍵遺跡整備検討特別委員会》

担当課から報告 唐古・鍵遺跡整備工事等の進捗状況について説明。唐古池東側の多重環濠ゾーンと弥生の林・草地ゾーンにおいて盛土造成、石積み擁壁、復元環濠、木橋、植栽及び園路整備等が順調に進んでおり、平成26年度末までに完了する予定である。また、唐古・鍵遺跡保存管理計画策定委員会では、史跡指定地を含めた遺跡全体の地区設定を示し、

保存のための取扱基準を設ける。

《清掃工場建設検討特別委員会》担当課から報告 やまと広域環境衛生事務組合が施工している新焼却施設は、平成26年7月に発注し、平成29年3月末に完成予定である。

一方、町施工の中継施設建設について、地元矢部自治会の同意を得たことを受け、先の議会で承認された造成工事を進めているところで、平成27年8月末の完成予定である。工事範囲は、中継棟、管理棟、資源ごみ棟、駐車場他である。中継施設は、持ち込みごみの積替えをする施設であることから、騒音・振動・臭気などの漏えいに配慮した対策を施している。また、敷地外周には常緑樹の植栽をすることにより、周囲の景観と調和を図る。

採択された意見書の概要

第4回定例会で採択された意見書は以下のとおりで、国へ提出しました。

意見書	提出議員
米の需給・価格安定対策及び需要拡大を求める意見書	古立憲昭議員
年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用に関する意見書	阪東吉三郎議員

町政を問う



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

辻 一夫 議長

12月定例会は役員改選した後の新たな委員会体制で議案審査を行いました。新たな体制となることで審査の視点も変わり、これからの議員活動や議案審査にも生かされることになると考えています。また、多くの方が議会活動に関心を持って、本議会の一一般質問の傍聴にお越しいただきました。これからも議会だよりでの議会情報の充実を図るとともに、開かれた議会の実現に努めてまいりますのでよろしくお願ひします。

阪東 吉三郎 議員

年金積立金の運用先に政府は株式を今の2倍に増やそうと考えているため、年金受給者の生活を脅かす運用は慎むべき意見書に採択を得ました。

次に安全な町づくりとして犯罪抑止に寄与する屋外防犯カメラ設置と、最近死傷者が増加している自転車事

故対策として安全利用推進について、一般質問をしました。屋外防犯カメラは公共施設に41台、民間施設にも設置されていますが、個人の権利の観点から慎重に扱う必要があります。自転車の安全利用推進は、学校では毎年、交通安全教室を実施し、高齢者等には今後警察と連携して事故防止の啓発に努めたいとの答弁でした。

森井 基容 議員

総務文教常任委員会にて防災無線の積極的な活用について、投票を促す放送は、現状は各自治会に依頼し自治会放送で実施しているが、防災無線で一斉に実施する方がより効果的ではないかと提案した。しかし、担当課は緊急性等の観点から今後も自治会に依頼するとの答弁でした。

また、先月実施された空き家調査の結果を尋ねたところ、現状の集計結果は564件というものでした。その多さに驚くとともに防犯上の観点からも町民が安心して生活できるように対策を講じていただきたい旨の要望をしました。

安田 喜代一 議員

総務文教常任委員会で審査した案件は12件でありました。主な内容は人事院の勧告に準じての職員等の給料表の改定や小学校の給食食器の購

入等です。小学校の給食食器は、冬休み中に入れ替えされ3学期からは新しい食器が使用されることになり、食器は人体に悪影響なくリサイクルが出来る材質との説明を受けました。

また、中学校給食の実施に向けては検討委員会を発足していくという報告がありました。今後は、財政面等も含め様々な課題がありますが、より良い中学校給食の実施方法を検討していきます。

森 良子 議員

一般質問において
(問) 現在、本町は4ヶ所の火葬場に6基の炉があり、町はその整備事業に補助金を交付しています。しかし、火葬場使用の料金は運営している墓郷でまちまち。近隣の市町村のように低料金で一律にするため、不足分を町が補助することは出来ませんか？また、動物の火葬場の建設と将来を見据えた火葬場の対策を検討されますか？

(答) 施設ごとに、建設時の個人負担など整備時の条件などもあり、料金を一律にするための新たな助成は考えていない。また動物と将来を見据えた火葬場の対策も考えていない。

古立 憲昭 議員

一般質問より

○「高齢者福祉政策について」

高齢者人口の推移、特に本町の特徴を問う。また、高齢者施策7項目を提示し本町の方針・対応を問う。

○「がん検診について」

本町と全国の受診率の比較と、本町の目標を問う。また、学校におけるがん教育の実施について考えを聞く。

○「インフラツーリズムについて」

子どもや町民の皆様インフラ施設完成後に見学するのではなく、建設途中から見学をし、事業に対する理解を深めていただくために、まずは唐古・鍵遺跡公園から提案する。

西川 六男 議員

改選で副議長に選出して頂き、議場での質問は控えるとのことですので、寺田町長の「中学校給食は教育委員会が検討して頂く」との議会答弁に基づき、総務文教委員会が教育長に質問しました。

「次回の教育委員会で中学校給食を論議し、早急に実施の方向性を出すのか」「実施に向け、来年度予算に要求するのか」などを質問しました。片倉教育長は「先進地では検討から3年程度かかっており、いつまでに実施すると明確にはできない」「議会の論議を教育委員に報告はする」「教育委員会の事業に必要な予算は

要求する」との答弁でした。

竹邑 利文 議員

町長の重点施策の介護環境施設の充実について質問した。町内において老人保健施設が50床、有料老人ホーム16床、介護サービス付き高齢者住宅20床、認知症対応型グループホーム45床それぞれ増床される見込みと答弁された。入所待機者の減少に努力をお願いしたい。

中学校給食の早期実施について、教育委員会は実施期限の明示が出来なかった。紹介議員として早期実施に向けて前進してもらいたい。

可燃ごみの回収に関して一人暮らしの高齢者、身障者に対して特定個別回収の検討を再度お願いしたい。

吉田 容工 議員

グラウンドストア西側から近鉄に沿って北上する町道田原本駅前線は6メートル幅が途中で狭くなつて、中学校からくる道路と交差しています。その部分のガレージが壊され住宅分譲されています。都市計画道路（12メートル幅以上）に指定されていて、どのように交通安全対策を講じるのか？質問しました。部長は、「開発業者から念書を取っている。大型カーブミラーを設置する」と答弁。町長は「買うことができなかったのが実情で

す」と発言。委員会で、実際は「買うという判断をしなかった」ことが判明。狭い部分の拡幅を求めました。

植田 昌孝 議員

寺田町長が選挙で掲げられていた公約について一般質問を致しました。御所市・五條市との広域ごみ焼却施設については平成28年度末に、唐古・鍵史跡公園の整備や道の駅については平成29年度末に完成を目指して取り組んでおり、また、町内の中継施設は建設中で平成27年8月末の完成予定との報告がありました。

他に新規事業として、農地の集約化と経営の効率化を図るために、地籍調査を行い既存の畦畔を撤去することで農地の大規模化等を進める。今後は多・川東地区で地籍調査を推進するとの答弁を受けました。

松本 美也子 議員

一般質問において 町長の選挙リーフレットに、「中学校給食実施への検討」と明記されていたことで、近い将来に実施するための検討と理解してよいか質問。町長からは「導人に向け検討すべき時期と考えるが、教育委員会が様々な課題を十分に調査・検討し、より良い学校給食に取り組みたい」との答弁。

教育長からは「実施時期については今お答えできない」との答弁でしたので、「中学校給食の早期実施を求める請願書」を採択した責任を議員の任期中に果たしたく、遅くとも町長任期中の平成30年4月には実施するよう強く要望しました。（要旨）

小走 善秀 議員

御所市での新ごみ処理施設建設については平成29年3月末に、また、町内の中継施設については、平成27年8月末に完成予定で、工事が進められています。

その中継施設の地元である矢部自治会と協定書を取り交わしたり、周辺自治会へ説明を行った旨の報告がありました。反対されている周辺住民の方々によく説明をし、理解を得る努力をするよう要望しました。

吉川 博一 議員

唐古鍵遺跡の公園整備工事について担当課より進捗状況の報告がありました。今年度の整備は平成27年3月に唐古池東側の多重環濠ゾーンと弥生の林・草地ゾーンにかけて完成予定で、特に弥生時代の植生を再現するためにクヌギ、カシ等が植栽されます。進捗状況については、町民にわかるよう広報等を利用して周知してもらおうよう提案しました。公園

全体の完成は平成30年3月でありませんがそれまでの間、現地の状況を確認しながらより良い公園整備ができるよう委員会で検討していきます。

松本 宗弘 議員

指定管理者の指定についての議案が2件提出されました。そのひとつは、ふれあいセンターで平成27年度から平成29年度までの3年間を現在と同じく田原本町社会福祉協議会を指定管理者とするものです。担当課からは応募があつたのは1者だけであつたが、ふれあいデイ事業また児童館やお風呂等の利用者が毎年ほぼ一定であるとの説明で、運営管理が適切に行われていることもあり、引き続き田原本町社会福祉協議会が指定管理者として選定されました。今後も子どもや高齢者の交流の場として良好な運営が行われることが期待されます。



催します。

次回定例会は、3月上旬に開催します。

問い合わせ先

議会事務局（☎34・2119）